

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成22年6月の動向

- 広島市総合指数（99.9）は前月と同水準。前年同月比は15か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.8）は前月と同水準。前年同月比は15か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.5）は前月比で下落（▲0.1）。前年同月比は15か月連続で下落。

## 2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.9	0.0	▲1.3
生鮮食品を除く総合指数	99.8	0.0	▲1.4
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	97.5	▲0.1	▲1.8

## 3 前月からの動き

～食料が上昇。家具・家事用品，交通・通信は下落。～

### (1) 10大費目の動き

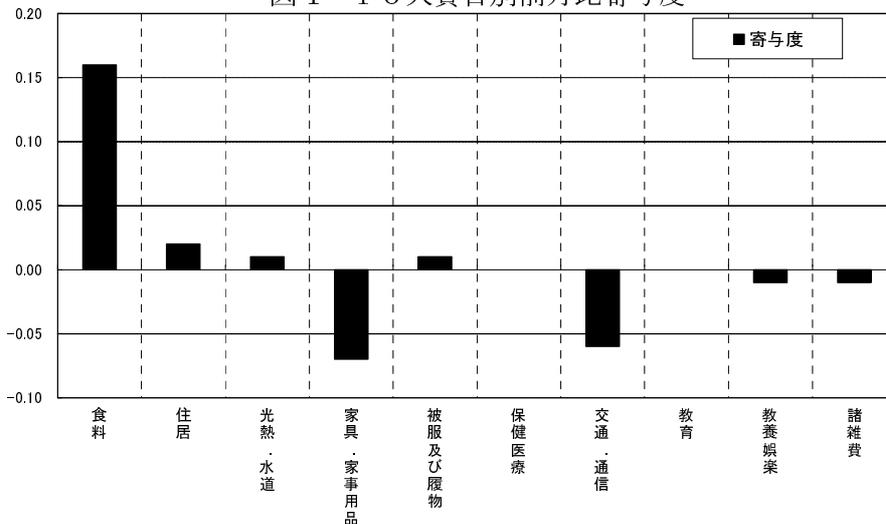
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.9	103.9	100.7	105.0	80.4	105.8	98.2	99.2	93.5	93.3	101.4
前月比 (%)	0.0	0.6	0.1	0.1	▲ 2.3	0.2	0.1	▲ 0.4	0.0	▲ 0.1	▲ 0.1
寄与度	0.0	0.16	0.02	0.01	▲ 0.07	0.01	0.00	▲ 0.06	0.00	▲ 0.01	▲ 0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目

食 料 : 果物 (前月比 12.5%，寄与度 0.11) 等

家具・家事用品 : 寝具類 (前月比▲17.1%，寄与度▲0.06) 等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に，各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
果物（りんご[ふじ] 等）	12.5%	寝具類（布団 等）	▲17.1%
魚介類（いか 等）	2.7%	野菜・海藻（さやいんげん 等）	▲1.9%
調理食品（冷凍調理ハンバーグ 等）	1.3%	自動車等関係費（ガソリン 等）	▲0.4%
家賃（持家の帰属家賃[木造中住宅] 等）	0.1%	交通（鉄道運賃[JR] 等）	▲0.6%
シャツ・セーター類（スポーツシャツ[半袖] 等）	0.9%	穀類（生中華めん 等）	▲0.7%

4 前年同月からの動き

～食料、教育を中心に15か月連続の下落。交通・通信と住居は上昇～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲1.3	▲1.1	0.5	▲1.5	▲8.9	▲1.6	0.3	1.6	▲11.8	▲1.8	▲0.7
寄与度	▲1.3	▲0.31	0.09	▲0.10	▲0.28	▲0.09	0.01	0.22	▲0.59	▲0.18	▲0.04

(参考) 主要要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

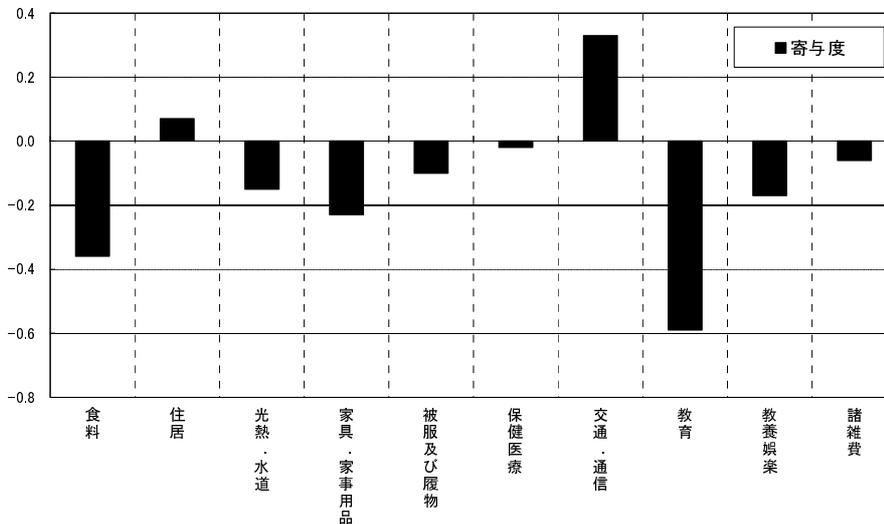
教 育：授業料（前年同月比▲16.0%，寄与度▲0.58）等

食 料：肉類（前年同月比▲6.9%，寄与度▲0.17）等

家具・家事用品：家庭用耐久財（前年同月比▲15.6%，寄与度▲0.11）等

交 通 ・ 通 信：自動車等関係費（前年同月比 3.7%，寄与度 0.27）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
自動車等関係費（ガソリン 等）	3.7%	授業料等（公立高校授業料 等）	▲16.0%
家賃（持家の帰属家賃[木造中住宅]）	0.6%	肉類（牛肉[国産] 等）	▲6.9%
野菜・海藻（えだまめ 等）	2.9%	教養娯楽用品（ペットフード[ドッグフード]等）	▲5.6%
他の光熱(灯油)	21.9%	家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	▲15.6%
果物（すいか 等）	5.8%	電気代	▲3.8%